

第217回研究科委員会・第321回教員会議 議事要録

日時：令和3年4月14日（水） 13：30～

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

学類長病気療養のため、評議員が司会を務めた。
会議に先立って、新任の教職員から挨拶をいただいた。

議題

研究科委員会

[審議事項]

1. 研究科長事務代理

(1) 福島県ハイテクプラザ客員教員の任用について

回収資料にもとづき、客員教授1名と客員准教授1名（いずれも継続）が申請され、承認された。

2. 教務委員会

(1) 令和3年度9月修了博士論文審査委員について

資料1にもとづき、9月修了予定の2名について論文審査委員が提案され、承認された。

3. 入学試験委員会

(1) 令和4年度入学試験の日程について

資料2にもとづき提案され、承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 学生の休退学について

資料がプロジェクタ投影され、報告された。

[その他]

1. 共創の場形成支援プログラムについて

資料3にもとづき、プログラムの概要を説明し、プログラムに合致し自治体や企業と連携できるテーマを学類長事務代理までお寄せいただくこととした。

共生システム理工学専攻会議

[報告事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和3年度入学者数について

資料4にもとづき、大学院の志願者や合格者数が報告された。

教員会議

[審議事項]

1. 学類長事務代理

(1) 学類長候補適格者の選出について

学類長から辞任の意向が示されたため、学類長候補適任者の選出を行うことが説明された。
資料5にもとづき選出の日程が示され、ただちに候補適任者5名を選出する予備選挙の投票が行われた。投票の結果選出された5名を候補に、21日の臨時教員会議で候補適任者2名を選出する本選挙を行うこととした。

(2) 客員教員の任用について

回収資料にもとづき、客員准教授の任用が提案されたが、対象者が博士後期課程に在籍中であることから、客員教員と学生の身分を兼ねることは不適切ではないか、との指摘がされた。また、過去に院生と客員研究員を兼ねることはできなかった事例があったことも報告された。

今回は極めて稀なケースであり、申請者が博士号の学位を有する独立した研究者であることから、結果として認めることとしたが、科研費の執行条件等を含めて今後検討すべきであるとの意見が出された。

(3) 名誉教授の称号授与について

回収資料にもとづき、2名に名誉教授の称号を授与することが提案され、承認された。

2. 教務委員会

(1) 令和3年度非常勤講師計画について

資料6にもとづき、前回からの変更点が提案され、承認された。

(2) 令和4年度からのBYOD導入に係る対応について(授業科目の確認)

資料7にもとづき、理工実験棟のコンピュータ室およびIPCを使用している授業の一覧が示され、確認された後、これら授業一覧以外例えば4年生のゼミなどで、IPCやコンピュータ室を利用している授業が無いかを今週末を期限にお知らせいただくこととした。

3. 入学試験委員会(委員長)

(1) 令和4年度入学試験の日程について

資料2にもとづき提案され、承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 学生の休退学について

資料がプロジェクト投影され、報告された。

(2) 令和3年度からのコース配属について

資料8にもとづき、コースの配属結果について報告された。ほぼ第1希望で配属されたとの説明があった。

(3) 令和3年度研究室配属ガイダンスについて

資料9にもとづき、研究室の定員や面談記録等について説明された。

(4) 令和3年度海外演習の休講について

令和3年度の海外演習はコロナウイルスのため休講とするとの報告があった。なお、いつでも実施できる体制は整えておく、との説明があった。

(5) 第41回全学教務協議会について

(審議事項)

・今年度の実施事項と来年度の課題について

資料10にもとづき、全学教務協議会における今年度の実施事項と来年度の課題について報告された。

(報告事項)

・キャリアセンター設置に向けた調査結果について(情報提供)

キャリアセンターを設置する構想があることが報告された。(運営会議第156回 [報告事項] (4))

・令和3年度シラバス登録(授業外学修欄)について

資料11にもとづき、特に「授業外の学修、及び必要な学修時間」の項目欄への記入等について、報告された。

・令和3年度授業の実施について

資料12にもとづき、4月8日(木)からスタートする2021(令和3)年度前期授業について、教育・学生担当副学長から学生への注意事項について、説明された。

・令和3年度単位履修型インターンシップについて

資料13にもとづき、令和3年度の単位履修型インターンシップの実施について、報告された。

2. 学生生活委員会(委員長)

(1) 令和2年度授業料未納による除籍について
資料14にもとづき、報告された。

3. 入学試験委員会(委員長)

(1) 令和3年度入学者数について
資料4にもとづき、理工学類の志願者や合格者数が報告された。

4. 自己評価委員会(評議員)

(1) 教員評価(研究業績管理システムの情報更新)の実施について
資料15にもとづき、今年度の教員評価について説明があり、5月12日(水)ㄨ切で情報更新と自己評価シートの提出をお願いしたい、とのアナウンスがあった。

5. 就職支援委員会(委員長)

(1) 就職活動へのご協力をお願い
資料16にもとづき、令和3年度就職支援ガイダンス日程やセミナーについての説明があり、学生に周知いただきたいとのアナウンスがあった。

[その他]

1. その他

教育研究評議会

第354回(3月23日開催)報告

[審議事項]

(1) 大学院の改革について 意見聴取(資料1)
食農学類長から、食農学類の大学院新設に係る文部科学省への事前相談(3月22日)の概要について報告があった。

また、総務担当理事・副学長から、資料1に基づき、3月24日の文部科学省への事前相談に向けた確定版の資料について説明があった。引き続き、学術情報・大学間連携担当副学長から、大学院教育プログラム検討ワーキンググループの検討結果の最終報告について説明があり、各学類教員会議へ4月16日正午ㄨ切で意見聴取し、第355回教育研究評議会(4月20日開催)にて各学類から戻り報告をすることとなったので、ご意見を4月15日までに学類長事務代理までお寄せいただくこととした。

(2) 教員免許・教職課程実施体制の検討について(年度報告)(資料2)

教育・学生担当副学長から、教員免許・教職課程実施体制の検討に係る年度報告があった。教員養成内部質保証及び教職の課程認定のあり方を課題とし、今後も検討を続ける旨説明があった。

(3) 学則の改正について(戻り報告)(資料3)

第352回教育研究評議会(3月2日開催)において審議され、各学類教員会議等に意見聴取していた結果について特段の意見はなかったとの報告があった。

(4) 学内諸規則の制定について(資料4)

総務担当理事・副学長から、資料4に基づき、教育研究評議会審議を要する学内規則等の改正内容について説明があった。

(5) 令和3年度国立大学法人福島大学年度計画について(資料5)

学長より、資料5に基づき、学内パブリックコメント及び経営協議会学外員からの意見を踏まえ修正した令和3年度国立大学法人福島大学年度計画案について提案があった。また、財務・財務戦略・施設・基金担当理事・事務局長より、予算、財産譲渡、施設計画等についての説明が、総務担当理事・副学長より、人事計画についての説明があった。

[報告事項]

(1) マレーシア国際イスラム大学との学術交流協定について(資料6)

広報・入試・就職・グローバル化担当副学長より、標記について報告があり、国際交流センター副センター長より、資料6に基づき、当該大学に係る協定の経緯、当面の交流事業、協定期間満了後の協定延長の可能性について説明があった。

(2) 令和3年 学類の年度計画について (資料7)

学長より、標記について報告があり、各学類長及び事務代理より、資料7に基づき、各学類において策定し、目標計画委員会において確認した各学類の令和3年度年度計画案について説明があった。

(3) 令和元年度教員評価実施結果報告について (資料8)

総務担当理事・副学長より、資料8に基づき、平成30年度に策定した「福島大学における新しい教員評価制度について」を基に実施した令和元年度教員評価の実施結果について報告があり、学長室より、各部局からの教員評価結果報告書により自己評価委員会において行った総括について説明があった。

(4) 学内諸規則の制定について (資料9)

総務担当理事・副学長より、資料9に基づき、「国立大学法人福島大学役員会規則」及び「国立大学法人福島大学学生納付金規則」の一部改正について報告があり、改正内容の詳細について説明があった。

(5) 就業規則の制定等について (資料10)

総務担当理事・副学長より、資料10に基づき、第555役員会(2月1日開催)及び第557回役員会(3月1日開催)にて承認された就業規則の制定等(令和3年4月1日付改正分)について、過半数代表者からの意見を踏まえ、第560回役員会(3月22日開催)にて最終決定したことについて報告があった。また、今後の手続きとして、労働基準監督署に届出を行うとした。

(6) 労使協定の締結について(資料11)

総務担当理事・副学長より、資料11に基づき、第555役員会(2月1日開催)にて承認された「裁量労働制に関する協定書」「1年単位の変形労働制に関する協定書」「時間外労働・休日労働に関する協定書」について、各事業場過半数代表者からの労使協定締結可の回答を受け、第560回役員会(3月22日開催)にて最終決定したとの報告があった。また、今後の手続きとして、過半数代表者に調印依頼の上、労働基準監督署に届出を行うとした。

(7) 教育研究費の不正防止計画実施状況の確認について (資料12)

総務担当理事・副学長より、資料12に基づき、教育研究費の不正防止計画に基づく実施状況について、各部局における当該不正防止計画実施状況の報告を受け、教育研究費不正防止計画推進室において確認を行ったことについて報告があった。また、研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)の改正概要に基づく今後の不正防止対策の強化ポイントについて説明があった。

(8) 令和2年度期末監事監査実施計画について (資料13)

業務監査監事より、資料13に基づき、監事より学長に提出した令和2年度期末監事監査実施計画について報告があり、引き続き、監査にあたっての回答書作成及びヒアリングによる概要聴取についての依頼があった。また、監査における重点事項について説明があった。

(9) 令和3年度予算配分について (資料14)

財務・財務戦略・施設・基金担当理事・事務局長より、資料14に基づき、国立大学法人福島大学会計規則に基づき学長が作成した「令和3年度予算配分」について報告があった。

(10) 令和3年度学長裁量経費(機能強化対応経費)等の配分について (資料15)

財務・財務戦略・施設・基金担当理事・事務局長より、資料15に基づき、令和3年度学長裁量経費(機能強化対応経費)等の配分について報告があった。

(11) プロジェクト研究所について (資料16)

研究・地域連携担当理事・副学長より、資料16に基づき、第23回研究推進機構会議(3月17日開催)において、食用油脂研究所の設置、福島県方言研究センターの廃止が承認されたことについて報告があった。また、令和3年度プロジェクト研究所の設置状況について説明が

あった。

- (12) 内外地研究員制度の見直しと派遣研究者数の配分方法について (資料17)
研究・地域連携担当理事・副学長より、資料17に基づき、第22回研究推進機構会議(2月19日開催)において、平成29年度から5年間の計画を決定していた内外地派遣研究者数の各学類等への配分を、令和4年度以降については、食農学類を含めた計画と制度の見直しを提案し、承認されたとの報告があった。なお、理工学類は、R4年度外地研究、R6年度に内地研究のローテーションとなっているとの説明があった。
- (13) 福島県と国立大学法人福島大学との職員の駐在に関する協定を変更する協定書について (資料18)
研究・地域連携担当理事・副学長より、資料18に基づき、第559回役員会(3月15日開催)にて承認された、福島県と本学の本協定に基づく職員駐在の状況及び変更内容として協定期間を1年延長することについて報告があった
- (14) 再生可能エネルギー寄附講座の存続期間の更新について (資料19)
研究・地域連携担当理事・副学長より、標記について報告があり、共生システム理工学類長事務代理より、資料19に基づき、第559役員会(3月15日開催)にて承認された、再生可能エネルギー寄附講座を1年間延長することについて説明があった。
- (15) その他
来年度の会議スケジュールについて (資料20)
学長から、標記について報告があり、学長室から、資料20に基づき、来年度の会議スケジュール及び来年度の会議開催形態について説明があった。

運営会議

第156回(3月30日開催)報告

[報告事項]

- (1) 大学院の改革について (資料1)
総務担当理事・副学長から、資料1に基づき、大学院の改革に係る文部科学省への事務相談(3月24日・2回目)の概要について報告があった。事務相談で指摘された組織形態については、執行部にて再検討を行い、新役員会案を提案することとした。なお、新役員会案策定後は、各学類・研究科向けの説明会(4月21日開催)を開催することについて説明があった。
 - (2) 勤務時間申告書の提出について (資料2)
総務担当理事・副学長から、資料2に基づき、令和2年度及び令和元年度の勤務時間申告書の提出率の報告があり、重ねて提出の依頼があった。理工も提出率が100%ではないので提出いただきたいとのアナウンスがあった。
 - (3) 令和3年度福島大学foRプロジェクトについて (資料3)
研究・地域連携担当理事・副学長から、資料3に基づき、令和3年度foR-Aプロジェクトの内容及び募集について報告があった。また、foR-Fプロジェクトについては、公募形式とはしないこととし、内容については、次年度に提案する旨説明があった。
 - (4) その他
電気・ガス・水道使用量について(2月分) (資料4)
財務・財務戦略・施設・基金担当理事・事務局長から、資料4に基づき、金谷川キャンパスにおける、令和3年度2月の電気・ガス・水道使用量等について報告があり、前月比・前年同月比を大幅に上回っている箇所の主な理由などについて説明があった。
- 第157回(4月13日開催)報告

[報告事項]

- (1) 令和3年度福島大学foRプロジェクトについて
研究・地域連携担当理事・副学長から、資料1に基づき、令和3年度「foR-Fプロジェクト」の内容について報告があり、今年度については、従来の公募形式とはせず、福島大学ミッション2030の遂行に資する研究、特に各研究科の研究の軸(柱)となる研究を組織的・政策的

に作り出していくことを考えており、今後、学長、研究担当副学長、研究科長（学類長）のほか、関係者等との相談の上、決定していくとの説明があった。

(2) 令和3年度入学者選抜実施結果について

広報・入試・就職・グローバル化担当副学長から、資料2に基づき、令和3年度入学者選抜実施結果について報告があった。また、分析結果については改めて報告する旨説明があった。

(3) 令和2年度入試広報実績について

広報・入試・就職・グローバル化担当副学長から、資料3に基づき、令和2年度入試広報活動の実績について報告があり、主な活動について説明があった。

(4) キャリアセンター設置に向けた提案について

広報・入試・就職・グローバル化担当副学長から、資料4に基づき、キャリアセンター設置の背景について説明があり、基盤教育主管から、他大学のキャリアセンターに関する調査結果について報告があった。引き続き、広報・入試・就職・グローバル化担当副学長から、調査結果に基づくキャリアセンターの設置について提案があり、キャリア教育とキャリア支援（就職支援）を合わせたセンターの特徴、運営体制及び今後の検討スケジュール等について説明があった。

(5) 地方国立大学定員増について

学長から、地方国立大学定員増について提案があり、学長室長から、資料5に基づき、中央教育審議会大学分科会に示された地方国立大学定員増の条件、本学の国立大学生数の現状及び今後の流れについて説明があった。また、各学類に今後の地方国立大学定員増への対応について検討いただきたいとの発言があった。一方で、定員増となっても運営交付金は増額されず一時的な補助金で賄われることから、慎重に検討すべきであるとの意見も出された。

(6) その他) その他

電気・ガス水道使用量について（3月分）

財務・財務戦略・施設・基金担当理事・事務局長から、資料7に基づき、金谷川キャンパスにおける、令和3年度3月の電気・ガス・水道使用量等について報告があり、前月比・前年同月比を大幅に上回っている箇所の主な理由などについて説明があり、今後も省エネに向けた取り組みをお願いしたいとの発言があった。特に、3月以降理工学類棟の水道使用量が急激に増加しているとの指摘があり、実験室等について確認いただきお気づきの点などあれば、お知らせいただくこととした。

今後の会議運営方法について

学長より、資料8に基づき、令和3年度における会議運営方法について報告があり、学長室より、原則として対面とするが、国及び自治体の指定した移動制限地域に居住する者、移動した者の会議参加は、可能な限りオンライン参加とさせていただくとの説明があった。